



令和 7 年 11 月 25 日
大臣官房公共事業調査室
港湾局技術企画課

港湾工事の生産性向上を推進 ～「港湾における i-Construction・インフラ DX 推進委員会」を開催～

港湾において、少ない人数で、安全に、快適な環境で働く生産性の高い建設現場の実現を目指し、「第 3 回 港湾における i-Construction・インフラ DX 推進委員会」を開催します。

国土交通省では、2040 年度までに建設現場の省人化を少なくとも 3 割、すなわち生産性を 1.5 倍に向上することを目指す i-Construction 2.0 の取組を進めています。

港湾局では本委員会において、ICT 施工の普及拡大、新たな技術の導入、建設生産プロセスの全体最適化、3 次元データの利活用及びデータ連携を進めるための検討を行うとともに、必要な基準類の策定を行っています。

今回の委員会では、ICT 施工の普及拡大のための各種要領のスリム化、海上工事のオートメーション化を目指した作業船の自動・自律化及び水中 ICT 建設機械の遠隔操作化、港湾整備 BIM/CIM クラウドシステムと市販施工管理ソフト等とのデータ連携等の検討方針について議論します。

今年度は 2 回委員会を開催する予定であり、令和 8 年 3 月 3 日に開催予定の第 4 回委員会にて、今年度の成果をとりまとめる予定です。

記

1. 日 時：令和 7 年 11 月 27 日（木） 9:30～11:30
2. 場 所：（一財）港湾空港総合技術センター 会議室（オンライン併用）
（東京都千代田区霞が関 3-3-1 尚友会館 2 階）
3. 議事内容：ICT 施工の普及拡大、海上工事のオートメーション化、BIM/CIM の活用
4. メンバー：別紙参照
5. その他：本委員会は非公開ですが、冒頭挨拶（議事開始前）のカメラ撮りは可能です。
撮影を希望される報道関係者は、当日 9:15 までに直接開催場所までお越し下さい。
会議資料及び議事概要は、後日、以下のホームページにて公開します。

（参考）港湾における i-Construction・インフラ DX 推進委員会

国土交通省 HP：https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fr5_000061.html



【問い合わせ先】

港湾局技術企画課 深津、對木（ついき）、石田

TEL:03-5253-8111（内線:46538、46526）、03-5253-8677（直通）

委員名簿

＜学識経験者＞

○岩波 光保 東京科学大学 環境・社会理工学院 土木・環境工学系 教授

＜関係団体＞

加藤 雅啓 日本港湾空港建設協会連合会 専務理事
岸本 高彦 一般社団法人 海洋調査協会 事務局長
三代 利郎 全国浚渫業協会 業務運営委員会 委員長
柴木 秀之 一般社団法人 港湾空港技術コンサルタント協会 会長
富田 幸晴 一般社団法人 日本海上起重技術協会 専務理事
藤井 敦 一般社団法人 日本潜水協会 専務理事
村岡 猛 一般社団法人 日本埋立浚渫協会 専務理事

＜行政・研究機関＞

小澤 敬二 国土交通省 国土技術政策総合研究所 港湾情報化支援センター長
佐瀬 浩市 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
港湾空港技術研究所 研究統括監
中林 茂 海上保安庁 海洋情報部 技術・国際課長
早川 哲史 国土交通省 大臣官房 公共事業調査室長
酒井 敦史 国土交通省 港湾局 技術企画課長

※ ○：委員長

（敬称略）